
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第218号(通巻第285号)

2025年7月24日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790
E-mail: edjissen-as@yamanashi.ac.jp
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

*****コンテンツ一覧*****

◆「第2回 山梨大学 やまなし情報教育推進室 学習会」の案内

■「令和6年度版 『教員育成支援状況』」報告書

■「教育ボランティアニュース No. 7、8」の報告

■「令和7年度 第1回連携・教育研究会」の報告

■「令和7年度 期間採用者等研修（スキルアップ研修）」の報告

■8・9月の主な行事予定

第2回 山梨大学

やまなし情報教育推進室学習会の実施のお知らせ

情報教育の指導力をこの夏、高めよう！

日時：令和7年8月7日（木） 9：00～12：15

場所：山梨大学甲府キャンパス（LC-17）

対象：小・中・高・特別支援学校の先生、大学生・大学院生、教育関係者

「個別最適な学び はじめの一步」 9：00～10：30

講師 稲木健太郎（栃木県壬生町立壬生東小学校・教諭）

オーガナイザー 三井一希（山梨大学・准教授）

1. 模擬授業 ICT を活用した個別最適な学びを模擬授業形式で体験
2. ワークショップ 個別最適な学びに欠かせない「学びの手引」を作成します

「豪州の SNS 16 歳未満禁止と情報モラルの授業」 10：45～12：15

講師 稲垣俊介（山梨大学・准教授）

1. 講義・解説 SNS の 16 歳未満禁止が学校現場に与える影響と対応策
2. ワークショップ 児童・生徒の個に応じた SNS の指導のあり方を考えます

情報教育の指導力を
この夏、高めよう！

第2回 山梨大学 やまなし情報教育推進室 学習会

2025.08.07 木 09:00 - 12:15

第1部：個別最適な学び はじめの一步

講師：稲木健太郎（栃木県壬生町立壬生東小学校・教諭）

オーガナイザー：三井一希（山梨大学・准教授）

模擬授業 ICTを活用した個別最適な学びを模擬授業形式で体験

ワークショップ 個別最適な学びに欠かせない「学びの手引」を作成します

第2部：豪州のSNS 16歳未満禁止と情報モラルの授業

講師：稲垣俊介（山梨大学・准教授）

講義・解説 SNSの16歳未満禁止が学校現場に与える影響と対応策

ワークショップ 児童・生徒の個に応じたSNSの指導のあり方を考えます

開催日時 2025年8月7日（木）9：00～12：15

会場 山梨大学甲府キャンパス（LC-17教室）

対象者 小・中・高・特別支援学校の先生、大学生・大学院生、教育関係者

申込方法 QRコードからお申し込みください

持ち物 ノートPCを必ずご持参ください

お願い 駐車場が限られているため、できる限り公共交通機関をご利用ください

申込締切 2025年8月1日（金）

受講料 無料

お申し込みはこちら



山梨大学教育学部附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL：055-220-8325

Email：edjissen-as@yamanashi.ac.jp

山梨大学教育学部

「教員育成支援状況」報告書

令和 6 年度版

令和 7 年 6 月

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

I 山梨大学教育学部の教員育成支援状況報告の概要

1 調査の目的

山梨大学教育学部教員による山梨県等の教員育成に関する支援実績を把握するため、アンケート調査を実施する。

2 調査対象者

- ・山梨大学教育学部教員

3 調査方法

- ・山梨大学教育学部ホームページ（学部教職員専用）の「アンケート－教員育成支援状況報告システム」への入力による。
- ・調査票は、1種類
- ・各教員が、2024年（令和6年）度の実績を入力

4 調査内容

- ・支援場所、期日、種類、内容等

5. 支援数

延支援数 368件 （昨年度 407件）

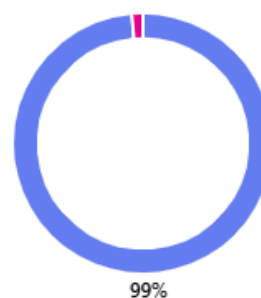
II アンケート集計結果

1. 令和6年度（2024年度）中に教員育成に関する支援を行いましたか。

なお、本調査での支援とは、講義外で行われる教員育成に関わる支援全般を指します。

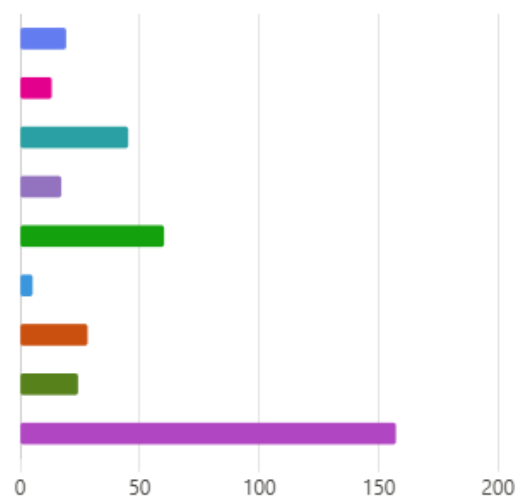
具体的には、「講習、研修等の講師・司会・コーディネーター」「講習、研修等の企画・運営」「授業研究、公開授業、教育関連の成果発表会、報告会等の指導・助言」「調査研究者会議、各種委員会、WG等の委員・役員」「共同研究」「審査」などを指します。

- はい 363
- いいえ 5



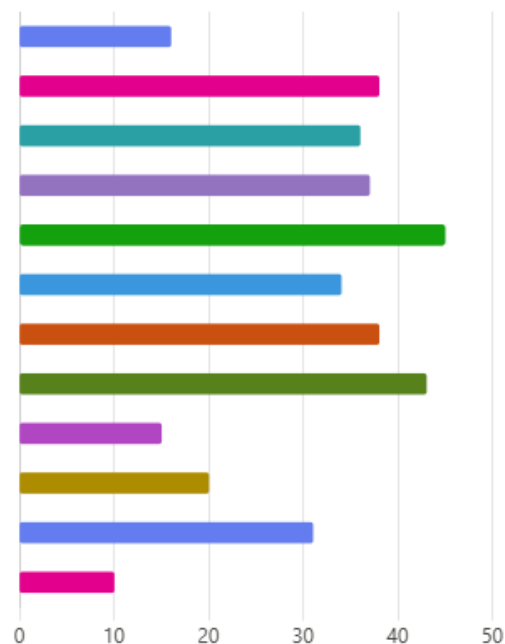
2. 所属講座・コース（延べ訪問回数）

● 幼小発達教育講座	19
● 障害児教育講座	13
● 言語教育講座	45
● 生活社会教育講座	17
● 科学教育講座	60
● 芸術身体教育講座	5
● 山梨県小学校教員養成特別教育講座	28
● 教育実践創成講座	24
● 附属教育実践総合センター	157



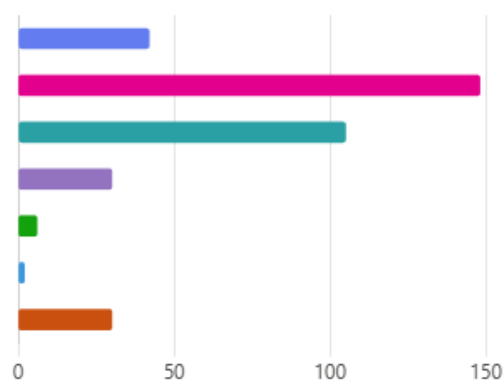
3. 支援した月

● 4月	16
● 5月	38
● 6月	36
● 7月	37
● 8月	45
● 9月	34
● 10月	38
● 11月	43
● 12月	15
● 1月	20
● 2月	31
● 3月	10



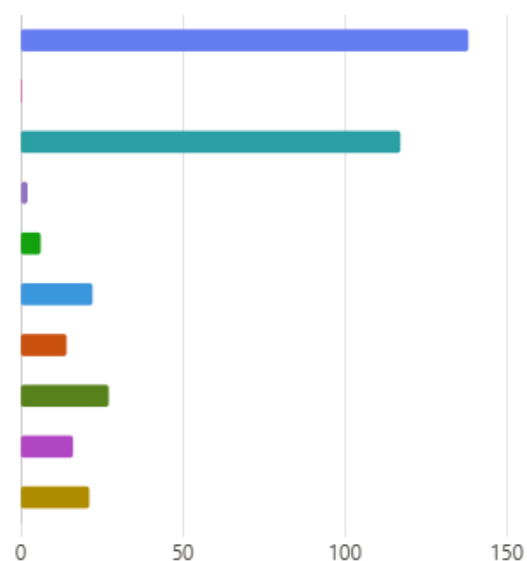
4. 主な支援対象

● 山梨大学附属学校園の教員	42
● 山梨県内の学校の教員	148
● 山梨県外（全国）の学校の教員	105
● 山梨県内の教育委員会、山梨県総合教育センター等の公的な教育機関等の教職員	30
● 山梨県外の教育委員会、総合教育センター等の公的な教育機関等の教職員	6
● 国の機関、研究機関等の教職員	2
● 児童、生徒、学生	30



5. 関連する支援内容

● 教科	138
● 道徳	0
● ICT・情報	117
● 学級づくり	2
● いじめ・不登校	6
● 教育相談	22
● 特別支援教育	14
● 幼児教育	27
● 各種・委員会・協議会等	16
● その他	21



令和6年度からアンケート項目を絞り調査しているため、本年度はこれまでの内容との経年比較はできない。

調査項目を減らしたが、状況報告の入力の依頼が十分でなかったため、本年度は機会を捉えて入力のお願いするようにしたい。

教育ボランティアニュース No.7

～教育ボランティアについての理解を深めよう！！～

2025年4月22日 教育ボランティア学生運営委員会

教育ボランティアスタートセミナー・・・4月9日（水）開催

4月9日に令和7年度教育ボランティアスタートセミナーが開催されました。今回のセミナーでは、教育ボランティア学生運営委員長・委員代表のお話やグループ協議、甲斐市立敷島小学校校長の久保田勲先生からのお話がありました。教育ボランティア活動を初めて行う学生にとって、疑問や不安を解消し、今後の活動への参加と意欲が高まる機会となったと思います。本ニュースでは、本会の様子についてご報告いたします。

初めに、教育ボランティア学生運営委員長からは、教育ボランティアの経験から「子どもと関わる機会の大切さ」についてお話がありました。委員代表からは、教育ボランティアの具体的な活動内容ややりがいを感じさせてくれるお話がありました。教育ボランティアでは、児童生徒の実態を知ることができ、教員になったときのイメージを持つことができる貴重な機会となったと説明してくれました。

次に、「教育ボランティアの疑問を解消しよう」をテーマにして、各コースの先輩を交えたグループ協議が行われました。具体的な活動内容、身だしなみ等の活動に関する疑問や授業・アルバイトとの両立等の不安を共有し合い、先輩たちからのアドバイスをもらえる時間となりました。これから教育ボランティアを始める学生にとって、疑問や不安を解消する討議となり、これからの活動にわくわくする場になったと思います。

最後に、甲斐市立敷島小学校校長の久保田勲先生からのお話がありました。教育ボランティアのメリットとして、自分の希望する校種だけでなく、異校種の現場を知る機会となり、自分の将来の仕事に生かすことができると教えていただきました。また、受け入れ先からの視点として、「ぜひ教員になってもらいたい」という温かい思いで受け入れていること、教育ボランティアの経験を「自分の糧」にしてほしいとお話がありました。貴重なお話を聞くことができ、これからの教育ボランティアの見通しをもつことができました。



本会では、1年生をはじめとした46名の学生が参加し、充実した時間となりました。本学期も多くの学生が教育ボランティアに参加していただけると嬉しいです。

【参加者のアンケートより】

- ・ボランティアという立場が、自分たちからしたらボランティアでも、子供達からしたら1人の先生だということを知った。また、子供が大好きだけど子供と関わる機会がなくて困っていたので、絶対に教育ボランティアに参加したいと思った。
- ・実際にボランティアに参加している先輩方の話を聞くことが出来てとても参考になった。
- ・実際の教育現場の方のお話は自分たち大学生とはまた違った視点でためになった。
- ・自分が目指している校種以外にも参加することの大切さを知ることができました。教員になるまでに身につけられるスキルをたくさん得られるよう取り組んでいきたいです。

教育ボランティアニュース No.8

～教育ボランティアについて詳しく知ろう！！～

2025年4月28日 教育ボランティア学生運営委員会

前期教育ボランティアガイダンス・・・4月16日（水）開催

4月16日に令和7年度前期教育ボランティアガイダンスが開催されました。

参加者153名、受け入れ先は25機関の担当者の方にお越しいただきました。本通信では本会の様子についてご報告させていただきます。

今回のガイダンスでは、長谷川教育学部長をはじめ、教育ボランティア委員長、学生運営委員より、教育ボランティアの意義やボランティアをするに当たっての心構えについてのお話をいただきました。

また地域学習アシスト事業やICT支援学生ボランティア事業についてもお話がありました。教員になった際に大きな力となる課題解決に向けた取組を行うなどの実践力や、ICTの活用が進んでいる現在の教育現場において必要とされる技術を身につけられるということで大変魅力のある事業だにご紹介いただきました。



教育ボランティア活動では、その日の活動が終わったらずぐにキャリアポに活動の記録を入力することで、その日の振り返りを自身で行うことができます。次の活動の際に前回の反省を生かせるので、教育ボランティアをより実りのあるものにすることができると、キャリアポの効果的な活用について教えていただきました。

受け入れ先からのガイダンスでは、25の受け入れ先の担当者の方々から、それぞれの教育ボランティアの具体的な内容や、これまでに活動に参加した先輩たちの様子について、お話をいただきました。また、ガイダンスに参加した学生たちに向けて、今後の活動への期待や励ましのメッセージも寄せられました。

ガイダンスの後半には、各受け入れ先のブースに分かれての質疑応答の時間が設けられ、学生たちは関心のある団体のブースを訪れ、さらに詳しい活動内容や実際の申し込み方法、必要な準備などについて、疑問に思ったことを積極的に質問していました。ブースでは、担当者の方々から学生一人一人の質問に丁寧に答えくださり、学生たちにとって非常に有意義な時間となっていました。

1年生にとっては、初めての教育ボランティアで不安や緊張も多いことと思います。しかし、真剣な表情で話を聞き、自ら主体的に動く姿が見られ、教育ボランティアに対する理解や意識を着実に深めている様子がうかがえました。今回のガイダンスが、今後の活動に向けた一歩を踏み出すきっかけとなった学生も多かったのではないかと思います。

教育ボランティアに参加したいけれど迷っている方や教育現場についてわからないことがある方など、ぜひ後期（10月）のガイダンスに参加してください。前期に参加していない方も後期から参加することができます。その他質問等があれば私たち学生運営委員もお答えします。

令和7年度 第1回連携・教育研究会 実施報告

山梨県総合教育センターと山梨大学附属教育実践総合センターの連携により、第1回連携・教育研究会を開催いたしました。顔合わせを兼ねて、今年度の事業計画等を協議し、教育実践・研究に関する情報交換を行いました。

1 日 時 令和7年5月19日（月） 【全体会】15:00～15:30

2 会 場 山梨県総合教育センター

3 出席者

＜実践センター＞

長谷川学部長、新野センター長、中込司特任教授、小川客員教授、小尾客員教授、河西客員教授、桐原客員教授、河野客員教授、田之口客員教授、廣瀬客員教授、保坂客員教授、三井客員教授、萩原教授、渡邊教授、稲垣准教授、三井准教授、渡部准教授、笠井准教授、樋川准教授

＜山梨県総合教育センター＞

天野所長、萩原情報教育推進官、重田義務次長、藤原県立次長、林管理部長、中村 ICT 教育支援センター長、田中相談支援センター長、長沼研修指導課長、伊藤業務推進主任、小俣キャリアアップ研修主任、平沼教育研究推進幹、小林調査研究課副主幹・指導主事

4 協議内容

（1）連携・教育研究会について

- ・ 令和5年度の実施状況と今年度の事業概要
全ての内容について承認された。

（2）その他

- ・ 子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会について
全ての内容について承認された。

5 連絡事項

- ・ 研究支援の概要について



【分科会】15:30～15:50

全体会終了後、6つの分科会（小学校、中学校、高等学校、情報教育、教育相談・教育支援、特別支援教育）に分かれて、自己紹介や研究の方向性等の確認を行った。

「令和7年度 期間採用者等研修」の報告

— 山梨県教育委員会・山梨大学連携事業 —

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や、教育に関する実践力を高めたい若手教員、学生・院生に対して、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等といった内容を主とした研修を山梨県教育委員会と連携し、開催しました。

次に紹介する参加者アンケートのとおり、好評のうちに研修を結ぶことができました。

1 実施日時

令和7年5月17日（土） 8:30～12:30

2 実施方法・会場

対面およびオンラインによるハイフレックス方式で開催（M-12教室他）

3 研修会の様子



9:00～10:00 研修1(全体研修)

「支援を必要とする児童・生徒も含めた人間関係づくり」

富士吉田市立明見小学校
上嶋 宏樹 教諭

10:10～11:10 研修2(教科等指導法研修)

「児童・生徒をひきつける授業の工夫」



甲府市立大国小学校
岡里 真実 教諭



富士吉田市立下吉田中学校
宮下 昌久 教諭



農林高等学校
本多 哲也 教頭

11:20～12:20 研修3(学級経営研修)

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりヒント」



山梨市立笛川小学校
雨宮 正倫 教諭

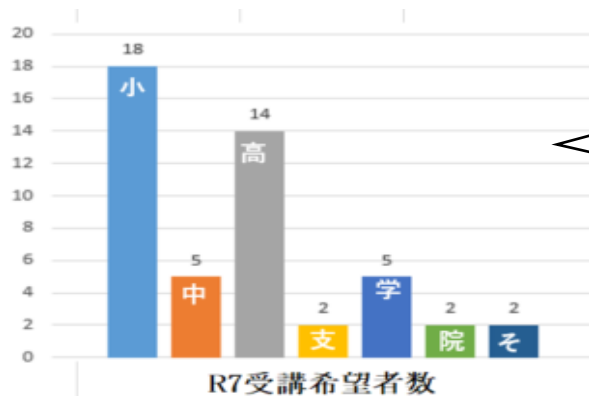


富士吉田市立下吉田中学校
藤原 聡 教諭



甲府西高等学校
三枝 和博 教頭

4 R7期間採用者等研修（教師力スキルアップ研修）受講者状況



昨年度に比べ、受講希望者は若干減少。特に、教職大学院生の受講者数が減少。高等学校の参加者数は大幅に増加。年々受講者が減少している傾向にある。校種ごとの期間採用者数の推移を把握する必要がある。

【R7研修1～3の受講者数】

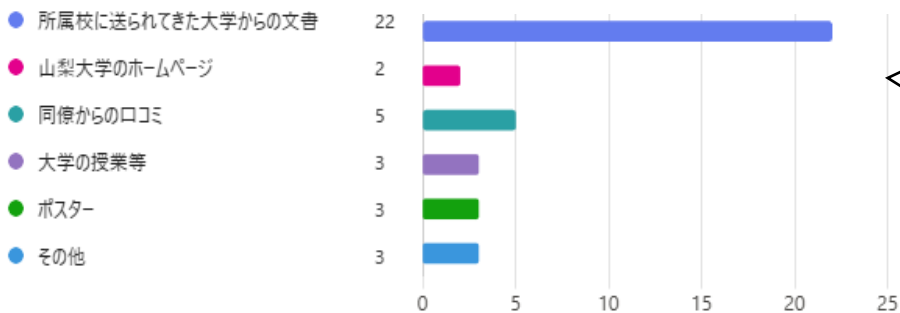
研修 1			研修 2			研修 3	
	対面	オンライン		対 面	オンライン	対 面	オンライン
全体 研修 (M12)	9 名	2 9 名	小 学 校 (M12)	2 名	1 6 名	2 名	1 2 名
			中 学 校 (N11)	3 名	8 名	3 名	6 名
			高等学校 (N12)	3 名	8 名	3 名	6 名
計	3 8 名		4 0 名			3 2 名	

過去の受講者数 2020(R2)：中止、2021(R3)：76名、2022(R4)：76名 2023(R5)：62名 2024(R6)：40名

5 アンケート調査の結果と考察

◆アンケート回答者数 38名

Q1. この研修をどのようにして知りましたか（複数回答可）



受講申し込み者が少なかったため、今年度も全県の学校に再度メールで周知した。来年度以降も、様々な機会や方法で本研修を周知する機会を設ける必要がある。

Q2. 受講した分科会（研修2・研修3）の校種をお答え下さい

研修2

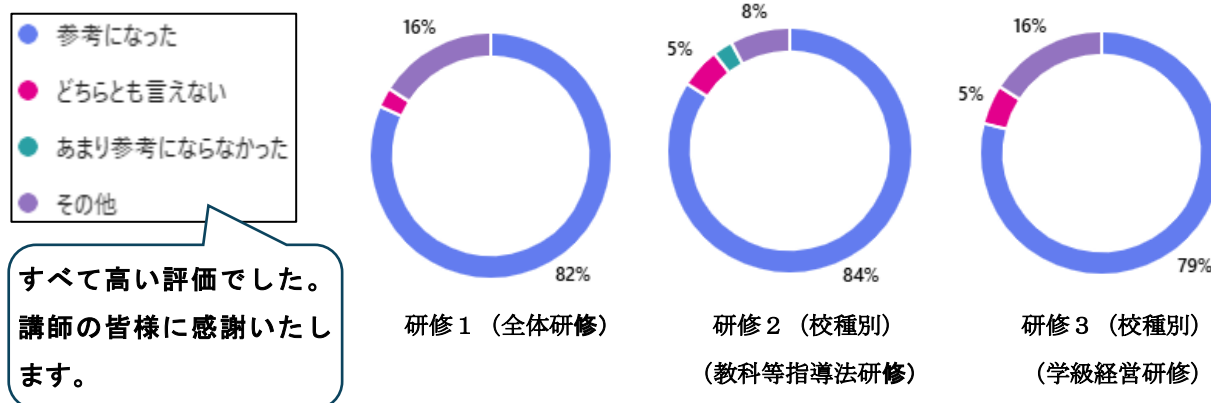
小学校	14
中学校	10
高等学校	11
参加しなかった	3

研修3

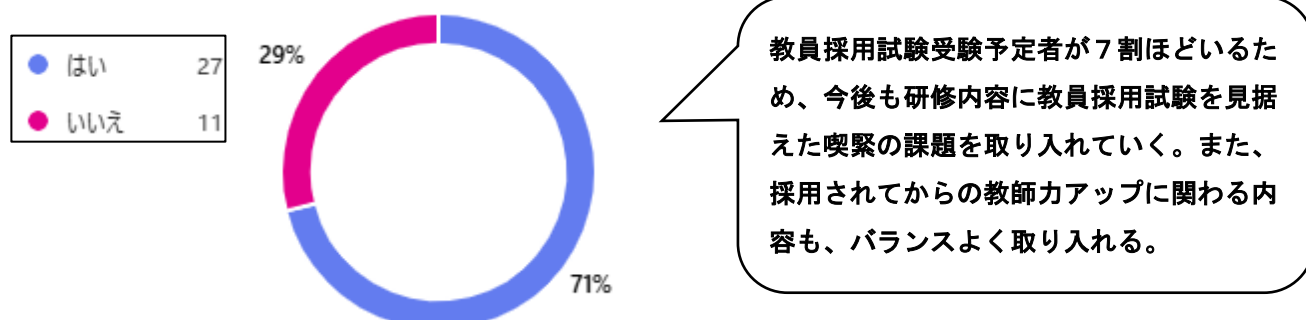
小学校	12
中学校	10
高等学校	10
参加しなかった	6

詳細の受講状況については、4 を参照。

Q 3. それぞれの「研修 1. 2. 3」の内容についてお答え下さい



Q 4. 本年度、教員採用試験を受験予定ですか



6 受講者の感想（アンケートより一部抜粋）

- ・今年、教員になりました。生徒の問題行動は『困った子』ではなく『困っている子』であるという所が響きました。週明けからは、問題として見える行動の更に奥を見ていくように、思い込みにならないように、生徒の『もう少しでできるようになること』に目を向けていきたいと感じました。
- ・途中でグループワークがあったため、主体的に臨むことができ、楽しかったです。
- ・子どもを見る目や実態把握の際の留意点など、月曜日から直ぐにでも活かしていけるお話しが多く、大変勉強になった。
- ・途中参加でしたがとても勉強になった研修でした。教員になっても受けたいと思った研修でした。
- ・教員採用試験を受験するにあたり、このような研修会を受講することができとても勉強になりました。機会ありましたら、またこのような研修会を開いていただきたいです。
- ・子供を引き付ける授業をどうすれば良いかと考えていましたが、参考になりました。観察や実験など、生徒の気づきができるような授業にしていきます。子供のつぶやきや、問い、考えを大切に、授業が子供を育てていくということを心にとめて授業をしていきます。
- ・学級経営をしっかりと行うことで、生徒の学習環境や学習状況に影響すると学んだので、実践していきたいと思います。
- ・学級経営はとても難しく正解がないからこそ沢山悩んでしまいます。今回の研修がとても学ぶことが多くあり、とても良い時間となりました。ありがとうございました。
- ・他の参加者と話ができ、同じ立場の他者の考え方を知ることができて良かったです。指導案を出来るだけ作りながら、教科の魅力・面白さを生徒に伝えていきたいと思います。
- ・研修という形ですが、学部生の方がもっと参加できるようになるには対話を増やしていくことが必要だと思いました。意見を言う機会や考える機会など少ないので増やして行けたら、受講する学部生も増えると思います。対面で表情や顔を見ながら、リアルを大切にしていきたいです。

■ 8・9月の主な行事予定

8～9月の 行事予定

山梨大学教育学部の
関係行事を含みます

研 修

○「第2回 情報推進室学習会」

8月7日（木）9：00～12：15

※小・中・高・特別支援学校の先生方、大学生、大学院生、教育関係者の方を対象に行います。

教員採用試験対策講座

○ブラッシュアップ講座1 ～個人面接～

7月29日（火）・・・一次試験合格者全員

○ブラッシュアップ講座2 ～模擬授業・集団面接～

8月 1日（金）・・・一次試験合格者全員

○教員採用試験スタートガイダンス2

8月 1日（金）13：20【1部】：2年（次年度教採受験）

15：20【2部】：3年、M1（次年度教採受験者）

○フォローアップ相談会1

8月28日（木）10：40～12：10：4年、S1、M2

○教採スタートアップ相談会

9月26日（金）16：30～18：00：2年、3年

進路支援

○進路支援ガイダンス 1年

9月29日（月）13：10～14：40